

標準測定から独自測定まで高周波材料の評価

測定結果を「材料」と「通信」目線で評価し、ソリューションを提供します！

背景・課題

高周波材料の用途と必要特性

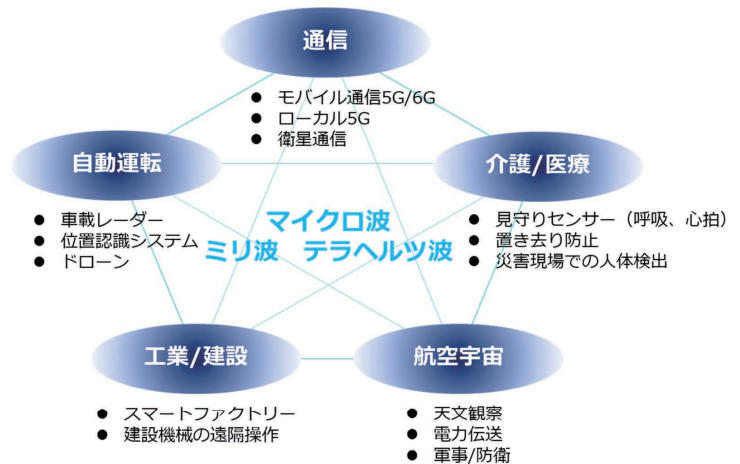
■ 回路基板：

- 低誘電率Dk (信号の伝搬速度)
- 低誘電正接Df (伝送損失軽減)
- 銅箔密着性 (平滑な銅箔での伝送損失軽減)
- 熱特性 (ガラス転移温度Tg、熱分解温度Td、線膨張係数CTE)

■ 電磁波制御材料：反射、吸収、透過

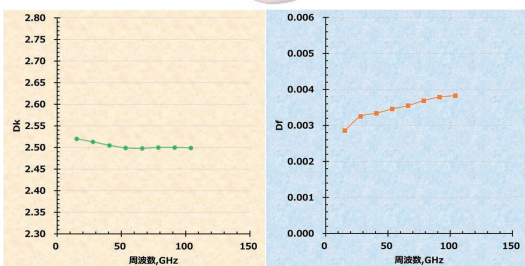
- ミリ波吸収/遮蔽シート (吸収特性、遮蔽特性)
- レドーム、自動車エンブレム/グリル (透過特性)
- メタサーフェス反射板 (反射効率、特定方向への選択反射)
- メタレンズ (スポット形状・焦点距離、位相中心、収差)

高周波（300MHz～300GHz）の利用分野

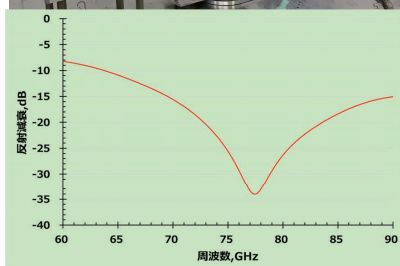


高周波材料評価の例

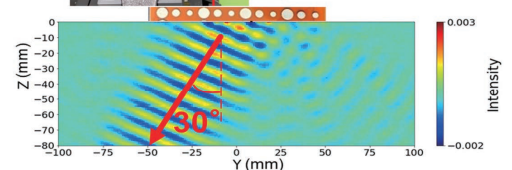
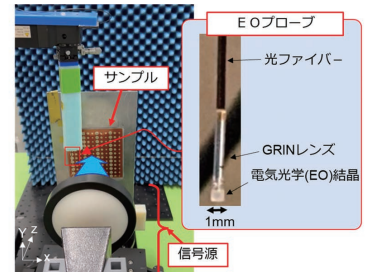
Dk/Df評価 平衡形円板共振器法



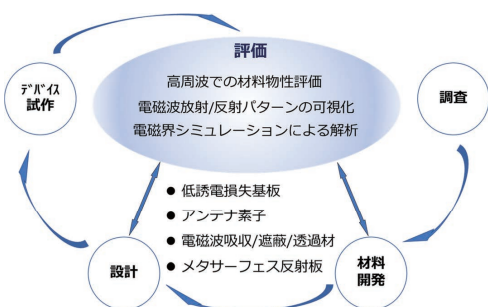
ミリ波吸収特性 フリースペース法



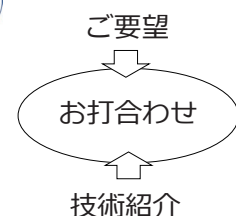
ミリ波可視化 フォトリックエッジ社装置



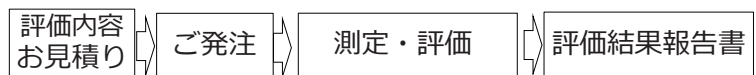
KRIでの評価のメリットと進め方



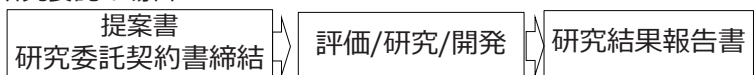
KRIは創業以来37年の受託研究で培った材料評価技術を活かし、お客様の目的に応じた高周波材料の評価を行います。



作業委託の場合



研究委託の場合



* いずれも準委任契約となります